

創立 1986 年

2021～2022年度クラブ目標

『新たな奉仕に踏み出そう
ロータリーの次の百年のために』

会長 鈴木 孝 幸
幹事 須藤 正 樹



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～22年度国際ロータリーテーマ

第1683回例会

令和3年10月14日 (18:30～19:30)



○ソング

- 四つのテスト

○ビジター

- 西郷村商工会青年部 部長 高木豊和様
- 〃 副部長 鈴木靖信様

○スマイルBOX

- 鈴木孝幸会長（西郷村商工会青年部部長高木様、副会長鈴木様、ようこそいらっしゃいました。高木様、卓話ありがとうございました。）
- 須藤正樹幹事（高木君、鈴木君、卓話ありがとうございます。西郷村アピールと青年部の活動報告も大変素晴らしかったです。今後もさらなる発展期待しております。）
- 金田昇会員（高木青年部部長、卓話ありがとうございました。三瓶様の遺志寄贈ととてもありがたいことです。ご冥福をお祈りいたします。）
- 富永章会員（結婚記念月、御祝いありがとうございます御座居ます。）
- 仁平喜代治会員（高木青年部長、鈴木副部長様、ようこそ。高木青年部長卓話ありがとうございました。西郷村商工会青年部がんばって下さい。）
- 中目公英会員（10月15日で、61才となります。還暦の一年間、さまざまな災厄に出合い、苦しいことが多かったのですが、これからは穏やかな日々を過ごせるように願っています。）
- 永野文雄会員（ゲストの高木豊和様、卓話ありがとうございました。三瓶会員のご冥福をお祈りします。）
- 渡部勝也会員（10月1日で10年取って68才になりました。合わせて10月26日には52回目の結婚記念日を迎えます。）
- 十文字光伸会員（結婚記念のお祝い、大変ありがとうございました。また本日は西郷村商工会、部長高木豊和様、卓話ありがとうございました。）
- 佐藤清作会員（卓話当番の例会の9月30日は、「佐藤清作税理士事務所」の最後の日でした。10月1日付で二男の弘に事務所を継承し、名称が「佐藤弘税理士事務所」となりました。私はここで仕事を続けます。今後共よろしく願いいたします。）

▶第1683回例会出席状況 (R3年10月14日)

① 出席免除を受けていない正会員数	50名
② 出席免除の適用正会員数	14名
③ 全正会員数	64名
④ ①の出席者数	27名
⑤ ①のメイクアップ者数	0名
⑥ ②の出席者数	13名
⑦ = ④ + ⑤ + ⑥ (メイクアップ補填後の出席会員数)	40名
⑧ = ③ - (② - ⑥)	63
⑨ = ⑦ / ⑧ × 100 (例会出席率)	63.5%

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間



鈴木孝幸会長

皆さん、こんばんは。本日も皆さんお忙しい中、例会にご参加いただきまして大変ありがとうございます。まず初めに、本日のお客様をご紹介します。西郷村商工会青年部部長の高木豊和様でございます。そして、副部長の鈴木靖信様でございます。本日は、高木さんより卓話を頂戴いたしますので、よろしくお願いいたしたいと思います。それで、高木さんは以前にも西クラブのほうに例会にご訪問いただいていることがあるので皆さんもご存じかと思いますが、高木さんは新白河駅前の「株式会社コーシン」に勤務しておりまして、私も仕事上のお付き合いがありますし、また高木さんの息子とうちの息子が同じサッカー少年同士ということで、父兄の繋がりということもあって以前からよく存じ上げております。今日は、どんな話が聞けるのか楽しみにしておりますので、重ね重ねよろしくお願いいたしたいと思います。さて、先週の例会は我が西ロータリークラブの現役メンバーでありました三瓶徹会員の追悼のために休会となりました。改めまして、故人の冥福を心よりお祈りしたいと思います。三瓶君の同級生であり親交の深かった藤田龍文会員をはじめとする野球部の皆さんにおきましては、訃報直後からご家族のために奔走していただいたと聞いております。そのため、お葬式当日の西クラブのメンバーもスムーズに葬儀のお手伝いをする事ができたと思います。三瓶君もきっと天国で喜んでくれた事と思います。私からも葬儀のお手伝い、多くの会員の皆さんが参加していただけたことを感謝申し上げたいと思います。どうもありがとうございました。そして、今後は我々西クラブメンバーは残された遺族の方を少しでも元気づけてあげるのが役目なのかなと思いました。私も「サンデンタルクリニック」の患者の一人であります。今後も引き続きサンデンタルさんに通院し続ける事くらいしかできないんですけども、微力ながら遺族の方を応援していきたいと思っています。それと昨日、三瓶君の奥様からロータリーの皆さんに葬儀で大変お世話になりましたということで遺志寄贈として10万円をいただきました。藤田龍文会員のほうから私のほうに報告がありましたので、皆様にご連絡いたします。せっかくですので、ありがたく大切に使用させていただきたいと思っています。前回の例会が中止になりました。予定しておりました白河ロータリークラブの鈴木邦典パストガバナーの卓話の機会がなくなってしまいました大変心苦しかったところであります。実は、吉野会長の時、同じように鈴木パストガバナーの卓話が中止になった経緯がありまして、鈴木パストガバナーの卓話が2回連続中止になるということで、池田委員長から中止

のご連絡をした時に怒られるのかなと思っていましたが、事情が事情だから致し方ないよねというふうな言葉をいただき、ご納得の様子だったということも池田委員長から報告を受けまして、ちょっとほっとした次第であります。さて、話は変わりますが最近すっかり全国のコロナの患者数は減って緊急事態宣言も解除されて、さらに福島県でも県民割プラスなどの宿泊割引が実施されて、いよいよ世間が活気づいてきたなんて感じております。私も週末に、趣味のオートバイで羽鳥から南会津、そして塩原、那須と走ってきたんですけども、すれ違うバイクの数、そして立ち寄る道の駅の人の入りが今までともう比べ物にならないくらい人が動いていると感じました。こんなに人が動いてもコロナも感染者が減っているというのはワクチンの効果なのか、はたまた巷でささやかれている第6波のコロナの変異の過程で一瞬感染力が低下するという状態なのか、本当に嵐の前の静けさという感じでちょっと不気味な感じがいたしております。今現在、ワクチンを受けている方は感染しても重篤な状況になりにくいと言われておりますので、差別化を行ってそれらの方は行動制限を受けずに自由に行動できるようにするようなお話もお聞きしております。また、全国の市長がそれに懸念を抱いてるというふうな新聞記事も今朝の朝刊に出ておりました。しかし、いずれにせよコロナを怖がって家に閉じこもってばかりでは、この疲弊した社会を打開できないと思いますので緊急事態宣言が解除された今、ワクチンを受けている方は積極的に外食、そして旅行などを実施していくのが社会奉仕なのかなと個人的ですが思っております。我々ロータリアンは、こういった形で常に奉仕というものを意識して行動を取っていくべきだと思っております。最後になりますが、皆さんにお願いがあります。11月7日、地区大会なんですけども、寂しいことに今年は会長幹事のための現地出席ということで、会員の皆様方に関してはユーチューブのライブ配信で出席していただくという方式となりました。皆さんには是非ライブ配信をご覧になっていただいて、志賀ガバナーの地区大会を盛り上げていただきたいと思いますので、ユーチューブの視聴をよろしくお願いしたいと思います。事前の出席案内にありましたが、急遽出席の方は事務局の吉田さんのほうに連絡していただきたいと思います。そして、その出席数がネットのクラブセントラルのほうに反映することができますので、よろしくお願いいたしたいと思います。ちなみに、先日の金田ガバナー補佐とIMの準備のための会議をした後にちょっとお話を伺いましたところ、会場の話で志賀ガバナーが作ったいわきの秀英学園が今回の会場ですけども、本当に志賀ガバナーが一代で築き上げたとは信じがたいくらいに素晴らしい校舎だったそうです。ちなみに、志賀ガバナーのご自宅もすごい豪邸で鉄筋コンクリート造で、しかも庭にはプールもあるというような、私も機会があれば是非拝見したいと思いました。ちょっと長くなりま

したが、会長の時間を終わらせていただきたいと思います。高木さん、今日はひとつよろしくお願いします。

■幹事報告

須藤正樹幹事

- 2021-22RID2530県南ガバナー補佐幹事 諸橋和典：会長幹事会について
- 白河市国際交流協会 会長 内藤義久：「フランス文化講座」の開催について（案内）、「日本語教室」の開催について（案内）
- 国際ロータリー日本事務局 業務推進・IT室：地域社会の経済発展月間リソースのご案内、End Polio Now リソースのご案内
- 国際ロータリー日本事務局 経理室：国際ロータリー日本事務局経理室より2021年10月RIレートのお知らせ
- 国際ロータリー第2530地区 ガバナーエレクト 佐藤正道、次期地区幹事 佐藤日出夫：ガバナーエレクト事務所開設のお知らせ
- 国際ロータリー第2530地区地区事務所：地区補助金（DDF）のご送金について
- 国際ロータリー第2530地区米山記念奨学会学友会 会長 チンタカ クマール：世界ポリオデーにおける募金活動について
- 公財）ロータリー米山記念奨学会 事務局長 柚木裕子：ハイライトよねやま259
- 国際ロータリー第2530地区2021-22年度ガバナー事務所：地区大会登録についてのご案内
- 福島民報社：「国際ロータリー第2530地区 地区大会」特集 広告ご協賛のお願い
- 福島民友新聞社 代表取締役社長 中川俊哉：眞子様ご結婚特集 新聞広告ご協賛のお願い

■委員会報告

○雑誌広報委員会

大竹憂子委員長



皆さん、改めましてこんばんは。雑誌広報委員会、大竹です。10月号の「ロータリーの友」を紹介したいと思います。まず、横組み5ページですね。

「RI会長メッセージ」が載っております。この中で10月24日のポリオデー、これについてメッセージの中に入っていて、そのポリオデーに関して36ページと45ページ、これも横組みのほうですがこちらにも載っておりますので、是非一緒にご覧になっていたけるといいかなと思います。続きまして横組み7ページから9ページ、白山ロータリークラブの事業内容なんですけども、「千代女が照らすこの街の未来」ということで、地域の特性を生かした奉仕事業を長期に渡り行っていて、第1期第2期第3期という形で細かく載っておりますので是非ご覧ください。飛びまして、縦組みの4ページから8ページ、「グローバルとローカル 現代世界の中

の地方創生」ということで載ってるんですが、これとても興味深いお話が載ってまして、東アジア各国の地方創生についてもいろいろと書かれてまして面白いかなと思います。日本が一番最初に行われたようなんですが、それが各国でも行われているということで。最後のほうですが、よそ者から見た地域の魅力がブランドにということに描かれているんです。これもまた面白く、他から来た方にとってはその地域の魅力というのがブランド化されるということで、白河西郷においてもやはりそういう点で見ることができるかなと思いますので、是非ご覧ください。続きまして、次の9ページから12ページですが、こちらは元宝塚の方がカリカリ梅の社長さんになってご苦労がいろいろあったというようなお話が載ってます。これもまた、女性ならではの苦労もあったようなので、そこがまた魅力的かなと思いますのでご覧ください。続きまして縦組みの16から18ページ、「友愛の広場」のほうですが、90歳直前のホールインワンとか、宮沢賢治ゆかりのバラが咲きましたとか、私の宝物というのも今はやりのラボット、これが三春ロータリークラブの方の紹介なんですけども、ラボットだったり、縁起の良い飾り物、こちらのほうもほっこりするなと思って私は見たんですけども、なのでこちらもご覧になってみてください。アットワークの中で一番最後なんですけど、いわき常磐ロータリークラブ「地域の小学校に図書を」ということで載ってるんですけども、長い間続けられてらしく最近では40数名いたクラブの会員さんが今現在では20人ほどになってしまったという流れと、20人になってこの奉仕活動は事業としてずっと続けていくということが載ってますのでご覧いただければと思います。また他にもいろいろと載ってますので、ご覧いただければと思います。最後にちょっと私が目に留まったのは、戻りまして横組みの26から27ページに「ロータリー平和センタープログラム報告」というのが載ってたんですが、こちらのほうにロータリー平和センタープログラムとはということも載ってまして、見るとよくわかるかなと思うんですね。講演の依頼をお待ちしておりますということも書いてありましたので、こちらは会長のほうに見ていただけたら嬉しいかなと思いました。以上、雑誌広報委員会「ロータリーの友」の紹介をさせていただきます。

○親睦委員会

・結婚記念日

渡部勝也会員、永野文雄会員、富永章会員
金田昇会員、池田浩章会員、中目公英会員
大竹憂子会員、藤田龍文会員、諸橋和典会員
鈴木信教会員、渡部則也会員、車田裕介会員
青木大会員、鶴丸彰紀会員、十文字光伸会員
白岩修一会員

・誕生日

渡部勝也会員、中目公英会員、吉野敬之会員
鈴木孝幸会員、藤田龍文会員、井上敬裕会員



ございます。生まれは西郷で、誕生日は昭和54年1月生まれの42歳です。白河西ロータリークラブさんの9月に入会された白岩修一君と同年で古くからの友人であります。西郷村商工会の活動でも一緒に活動をしている仲間であります。家族は、妻、子供2人います。長男と次男。結婚が早かったので、上は21歳、下は18歳。二人共サッカーをやってまして、先程、西ロータリー会長から紹介ありましたが、クラブチームで小中高まで一緒に子供がサッカーをしていまして、サッカーの応援などを一緒にして喜んだり悔しんだり、お互いの子供の成長を見ながらそんなお付き合いをさせていただいたのを覚えております。趣味のほうは、アウトドアが好きなので冬は山でスノボ、夏は猪苗代でマリンスポーツなどを行っております。バイクも好きなんですけども、今はちょっとなかなか乗れないので小っちゃいバイクしかないんですけども、子供ももうちょっと大きくなったらバイクもはじめて会長と一緒にツーリングなど行けたら楽しいかなと思います。会社のほうはPRも兼ねて紹介させていただきます。場所は、新白河駅前ローソン前に事務所がありまして、「株式会社コーシン」と申します。専務として私は務めさせていただいております。日頃から皆様にはいろいろとお付き合いいただきましてお世話になっております。ありがとうございます。設立33年で従業員は8名となっております。仕事の内容としては、事務用品の販売、修理など。取り扱ってる商品は、オフィスで使用するものは何でも扱っております。複合機、パソコン、ビジネスネットワーク工事、インターネットセキュリティなど、細かい物でいえばボールペンの替え芯1本からも取り扱っておりますので、何かありましたらお問い合わせよろしく願いいたします。私は高校卒業後、東京に出まして複合機のメーカーで10年経ったくらいでこちら地元に戻ってきたという経歴があります。市内の事務系屋さんでは、複合機を自社メンテナンスしているのは弊社と他に1社だけくらいだったかなと思っております。今の複合機はコピー機だけではなく、ファックス、プリンター、スキャナーなど多機能になっておりますので、時間外、土日祝日も止まってしまうと事務に支障が出たりしますが、メーカーさんですとなかなか時間しっかり区切られてコールセンターも繋がらないとかありますが、私共は自分の会社にサービスを抱えておりますので、電話一本あればいつ何時でも駆けつけたりして地元密着型という形でやっております。事務用品なんかは昔ですと、商品が届いて事務所で伝票を切って配達というのが当たり前の時代でしたが、今はもう通販が当たり前になってきてまして、ボタン一つ押せばすぐ物が届くという時代になっております。弊社も通販業務代理店となっております。ご存知かと思いますが「アスクル」なんかの正規代理店にもなっておりますので、「アスクル」とパソコン叩いて登録すれば荷物は届くんですが、実は代理店を通しての契約になっておりまして、カタログに

○会計

横田俊郎会員



皆さん、こんばんは。会計のほうからお知らせいたします。10月は会費引き落としの月になっておりまして、今月は10月25日の月曜日にご指定の口座のほうから引き落としをさせていただきますのでご準備のほうをよろしくお願いいたします。

○県南分区ガバナー補佐

金田昇様



IMに関して日にちと実行委員会決まりましたので、そのご報告です。皆さんがしっかりできるようにやっております。実行委員長として吉田充さんが決まりまして、大体内容決まっておりますので、是非ご協力をお願いします。それと地区として初めての事なんですけど、今度の日曜日、レディースロータリアンの集いということで、女性会員の方達が集まってもう少し女性会員を増やしましょうというふうな事業を行います。当クラブからも会長、幹事とあと数名参加してきますので、ご報告いたします。よろしくお願いします。

■本日のプログラム

ゲスト卓話

○西郷村商工会青年部

部長 高木豊和様



改めまして、こんばんは。西郷村商工会青年部、部長の高木豊和と申します。まず初めに、自己紹介のほうをさせていただきます。西郷村の部長を務めておりまして、商工会で県南地区商工会連絡協議会こちら副会長を務めさせていただきまして、福島県商工会連合会。こちらは福島県の理事のほうを務めさせていただいております。県南地区では、商工会は11団体。県になりますと88団体となっております。福島県商工会連合会のほうではこちら須藤正樹OBさん、2009年平成21年の21代会長を務めたという履歴が

付いているシールなんか見ていただくと、他の会社名の名前が入っておりますので、どこかわからない会社にお金を払っているようなシステムになってますので、もしよければ弊社に代理店などもできますので、電話をしていただけるとありがたいと思います。では、本題に入りましてテーマに沿って卓話のほうをさせていただきます。目次のほうで、西郷村の現状。西郷村商工会青年部の活動。商工会青年部が果たす役割。未来へのバトンという形でお話させていただきます。まず一番目に、西郷村の現状についてです。西郷村について、西郷村商工会青年部の内容について皆さんもご存知かもしれませんが、改めて説明させていただきます。こちらの3枚の写真をご覧ください。すべて西郷村で撮影された写真です。一番左の写真は新白河駅ですが、日本では唯一村に止まる駅としても知られております。真ん中の写真、こちらは国道289、甲子大橋の写真になります。新幹線の駅から20～30分でこの景色が広がる。まさに田舎と都会が共存する西郷村最大の魅力があると私は思っております。立地条件がいいのもありまして、東京で働いていた時は朝、家を出て新幹線に乗ってそのまま出社していたりしてた時もありました。今は高速バスなんかでもできて、かなり安く首都圏にもアクセスできるという交通の便が良い魅力もあると思います。魅力ある西郷村ですが、その魅力もあって人口が常に増加傾向の推移をしているのが特徴です。その人口は、20,809人と全国の村の人口ランキングでは第4位を誇っています。人口の推移グラフからもわかるとおり、長年に渡り人口が増加していることが見れると思います。このことから、いかに西郷村の魅力に人が集まっているかが感じ取れると思います。しかし、福島県全体に目を向けてみると大きく減少していることがわかります。もちろん、東日本大震災による原発事故の影響も大きく、今だその影響があることが予想されますが、そのような逆境の中で人口が増加で推移している西郷村の現状はとても恵まれていることだと思います。先日、自治体四季報が発表されまして、自治体ランキングで西郷村はなんと全国1741自治体中、1位を獲得しました。こちら自治体四季報とは何かといいますと、住民の持続可能な幸福を実現する力。自治体の経営力を見える化したものです。①に人口増減率。②に地方税収増減率。③に人口一人当たりの地方税収。④財政調整基金増減率。⑤人口一人当たりの職員人件費、これらを基にスコア化してランキングにしたものですが、あらゆる面から西郷村が勢いが村である。それは県内だけにとどまらず、日本全国から見てもすごいことが裏付けられるものだと思います。そんな西郷村ではありますが、ここから本題。我が西郷村商工会青年部の活動について説明してまいります。現在、我々西郷村商工会青年部は部員数20名で構成されています。こちら西ロータリークラブさんの石川格子さんも部員として活動しております。親会の商工会の会長では仁平喜代治さんが代表として努

めております。商工会青年部の資格は西郷村に事業所が存在し、その企業の後継者もしくは後継予定者の方、45歳までの加入となっております。その他にも活動に賛同していただければ、西郷村に事業所がなくても門戸を広げている状態です。ちなみに、賛助会員というメンバーで参加しているメンバーも現在います。他の商工会の団体もなかなか若い世代が入ってこないで、だいたい青年部の人数が減っていると聞いております。代表的な私たちが取り組んでいる二つの事業を報告いたします。一つ目が、「にしごう祭り」です。先程、説明した勢いのある西郷村ですが平成28年、西郷村には村を挙げてのお祭りが存在しませんでした。それに危機を感じたのが、当時の青年部長、白岩修一君です。自分たちの生まれ育った村に祭りがいなんて駄目だと立ち上がり、開催したのが「にしごう祭り」となります。このお祭りの最大の特徴は、商・工・行政、3団体が西郷村商工会青年部と農業、酪農をやっているアグリネットワーク、あと行政、役場の3団体が集まって祭りを作り上げております。もちろん畑違いの若者たちをまとめるのはとても大変なことです。こんな時、懸け橋となったのは当時、白岩さんが率いる我々商工会青年部でした。我々商人の持ち前のコミュニケーション力で各団体をまとめ、お祭りを大成功に導き村の活性化に一役買っていると思っております。そんな地域にとっても大きな貢献を果たした青年部ですが、令和2年度、全国商工会青年部ネットワーク作り部門において全国で表彰をいただきました。これは我が西郷村商工会青年部にとっても初でしたが、福島県商工会青年部においても快挙として注目を集めました。表彰式は東京で行われる予定でしたが、コロナで中止になってしまい盛大にお祝いをするはずでしたができませんでした。とても残念でした。続いて事業を紹介です。こちらは「家族にがおえ展」になります。我々商工会青年部が中心となり、西郷村教育委員会、村内5つの小学校と連携して行っている事業です。新入学した一年生を対象に家族の似顔絵を夏休みの宿題で書いてきてもらい、「イオン西郷白河店」で展示をしております。この事業は長年続く西郷村商工会青年部がネットワークを繋いで可能にしている事業の一つであり、先輩たちからの伝統であると思っております。まだまだ様々な取り組みを行っておりますが、ここからはそんな我々商工会青年部が果たす役割について話していきたいと思います。まず最初にも話した西郷村ですが、一見人口は増加傾向で推移し続け、日本で一番の村として発表されたなど順風満帆にも思われますが、私はこの西郷村にも課題が存在していると感じます。それが郷土愛の稀薄です。こちらは西郷村の平均年齢です。42.89歳で、こちらも福島県で一番平均年齢が低いと発表されております。ちなみに、第2位は郡山市です。逆に最下位を見てみると金山町で62歳と、西郷村とでは19歳もの差があることがわかります。もちろん、これは少子高齢化が進む日本において喜

ばしいことでもあると取れますが、裏を返せばそれだけ他の市町村から若い方達に移り住んでいるかとも読み取れます。このグラフは、総務省が発表している2019年現在のスマートフォンや携帯電話などのモバイル端末の普及率を表した表です。96.1パーセント、ほとんどの方がモバイル端末を保有している時代であることがわかります。現在は、SNSの大幅な普及により顔を合わせなくても連絡の取れる便利な時代です。このようなSNSツールの利用率もモバイル端末の普及率と連動するように上昇し続けております。ラインに関しては、10代から30代に限ってみると90パーセントが利用している状況です。これからわかることは、若者を中心にコミュニケーションツールが激変しているということです。顔を合わせたコミュニケーションが極端に減少している現代の構造。特に若者を中心のその変化は顕著であり、人口流入により若者が多く住むようになっている西郷村にとって、このことが郷土愛の稀薄さという課題を生んでいると考えております。では、商工会青年部はこの時代に果たせる役割は何でしょうか。私は今こそ繋ぐ力を発揮する時だと考えております。先程、紹介した事業ですが、いずれも農業の若手、行政の若手職員、教育現場、そして地域を結び付けてきたのが我々商工会青年部です。西郷村にこれだけの団体を繋げる組織は、我々商工会青年部意外に存在しないとさえ私は思っております。だからこそ、地域にとって私達が果たすべき役割はこのような時代背景の中、重要になるとも考えております。もちろん、自治体ランキングにおいて税金が多いなどのお金も大切ですが、その繋ぐ思いがなければ些細なきっかけでばらばらになってしまうと思います。そうならないよう繋ぎとめるのが郷土愛を持ってもらう。移住してきた方にも、西郷村を好きになってもらうことであり、その働きかけの原動力を作れるのが西郷村商工会青年部だと考えております。そんな我々が考える未来のバトンというテーマで次の話を続けます。地域から全体を繋げて盛り上げていこうという矢先、新型コロナウイルスの全国的な蔓延により生活は一変しました。今まで行ってきた事業は感染予防の観点から中止せざるを得なくなり、「にしごう祭り」も昨年度は第6回目でしたが中止となりました。新しい生活様式やニューノーマルな社会など、今までの普通が普通でなくなる、コミュニケーションツールは加速的にIT化が進むとも言われております。そんな激動の時代の中、我々商工会青年部も変化しなければ地域を繋ぐ、郷土を育む事業を行うことになりました。コロナだから何もしないことは簡単です。こんな時だからこそニューノーマルを考え、新しい地域を繋ぐ事業はできないか。我々商工会青年部は会議を重ね検討を続け、今だからこそ自分の足元、地域の足元を見よう、そこで生まれたのはお手元にお配りしました、2021にしごう祭りリアル宝探しを融合した西郷調査団です。にしごう祭りは去年は中止となり2年ぶりの開催です。テーマは西

郷村の魅力を再発見。そして、ターゲットは未来の西郷村を担う若手。特に小中学生です。例年のイベントは、人を集めて飲食を伴うためイベントを開催することはできなかったですが、行政の行うイベントについてもすべて中止というその中で、この事業を通してコロナで遠出ができないという弱点を逆手に取り、地元を巡ってもらい西郷村って素晴らしい所なんだと再認識してもらい郷土愛を育む。これにより我々商工会青年部が次の世代へ繋げたいバトンを少しづつ。そんなイメージを事業に込めて実施しております。郷土愛を育み、地域にとっての懸け橋となる組織、それこそが我々商工会青年部が果たす役割であり、先輩たちから引き継ぎ次の世代へ繋いでいきたいバトンです。そちらの事業ですが、お子さん、お孫さんと一緒に是非参加していただき、西郷村の謎を解いて宝箱をゲットしていただければ、景品等を郵送でお送りいたしますので、是非参加のほうよろしく願いいたします。これから地域のため、次世代を担う子供たちのために、西郷商工会青年部一同、精進してまいりますのでご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願いいたします。本日は、貴重なお時間をいただきありがとうございます。ご清聴、ありがとうございます。



○鈴木孝幸会長



三瓶徹会員に黙祷を捧げたいと思います。それでは、改めまして故三瓶徹会員に黙祷を捧げたいと思います。皆さん、ご起立ください。黙祷。

